

自然と社会の共生科学の創生

生命環境 学部

Faculty of Life and Environmental Sciences

生命工学科 地域食物科学科 環境科学科
地域社会システム学科

【ADMISSION POLICY】

自然と社会の共生科学の視点から、生命・食・環境・経営などの諸問題に取組み、解決する意欲をもつ人を求めています。

【教育目標】

- 生命科学・食物生産・環境科学・社会科学に関する実践的な教育を行う。
- 広範な知識を統合する能力と、問題を発見・解決する能力を育む。
- 持続可能で豊かな社会を実現できるグローバル人材を養成する。

自然環境と人間社会との共存・共栄を科学し、
人類の未来の担い手を育成する

生命環境学部は、地域社会の持続的繁栄を担う農学系・社会科学系人材の育成を切望する地域ニーズを受け、平成24年4月に誕生した「理」・「文」融合型の学部です。理系・文系の垣根を低くした学科横断的な教育により、自然と社会の共生を実現するための課題を提起し、解決する能力を涵養します。

本学部のカリキュラムでは、実験・実習・演習系の授業を数多く設けています。さらに自然科学系の3学科では、最先端のバイオ技術、食物科学・農学の専門技術、自然環境の調査管理技術など、高度な専門技術を習得できます。また社会科学系の1学科では、流通経済・経営・行政・都市計画など、地域社会のマネジメントに関する専門知識を学ぶことができます。



01 生命環境基礎ゼミ

他大学には類のない、本学部の目玉授業の一つです。1年次前期の必修科目であるこのゼミでは、受講学生が少人数のグループに分かれて、自ら研究テーマを設定し、調査・実験・文献の収集調査→結果の分析→考察を行います。半年間かけて自発的な作業を繰り返すことで、今後の専門研究を進めるための基礎力を養います。ゼミの終盤では、学部の1年次全員が集合し、互いの成果を発表・評価するプレゼンテーション大会が実施されます。

過去に実施した研究テーマ例

- マグロのDNA鑑定
- 天然酵母の単離
- 大気汚染のデータ解析
- 除菌洗剤の除菌率
- 一人暮らしの正しい食事
- コンビニにおける食品廃棄物問題
- フェア・トレードの実態

02 生物資源実習

生命環境学部の特色ある実習科目の一つです。生物・食物・環境・経営に関わる様々な体験学習を通して、作業の楽しさや難しさを実体験します。同時に、農作物の生産実態や問題点、食品の品質管理などを総合的に学習します。本学部では文系・理系学科を問わず、2年次全員が受講します。

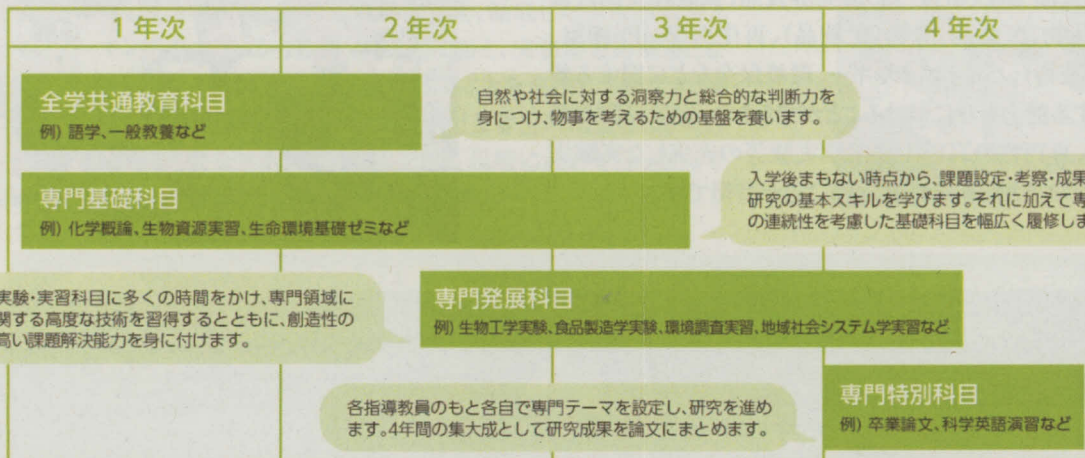
実習・演習内容

- 附属農場での体験
- 食品加工工場の見学
- 食品製造の実習
- 栄養調査報告 等



03 ワイン科学特別コース

ワイン科学特別コースでは、ブドウやワインに関する高度な専門知識と実践的な技術力を備え、ワイン製造に熱意を持った技術者・研究者を育成します。本コースの学生は、学部1年次からブドウ・ワインに関する講義を受講し、ワイン科学に関する最先端の知識と技術を学びます。さらに、ブドウ栽培実習・ワイン製造科学実習・山梨県内のワイナリーでのブドウ栽培やワイン醸造の現場を体験するインターンシップなどの実習を交えて、実践に即した応用力を養います。





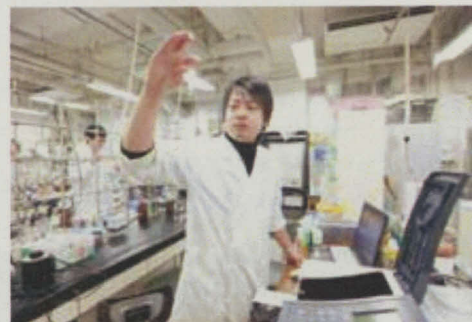
生命工学科

Department of Biotechnology

最先端のバイオテクノロジーで 人類の未来を切り拓く

生命工学は生物が持つ多様な機能を解明し、それらの応用を目指す学問分野です。生命工学が生み出す先端のバイオテクノロジーは、様々な分野に大きな変革をもたらしています。

生命工学科では、バイオテクノロジーによって解決すべき課題を自らの力で見だし、それらの課題を高い創造性をもって解決できる能力を備えた研究者、技術者の養成を目指しています。バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスを始めとする最先端バイオを学ぶことにより、食品生産（植物バイオ、発酵食品、機能性食品）、健康増進（有用微生物、医薬品、酵素、化粧品）、再生医学（iPS細胞、ES細胞、クローン技術）、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけることができます。化学実験や発酵工学基礎実習、専門性の高い生物学実験等の充実した実験実習により、実践的な知識と技術を修得できることが特徴です。



学びの POINT

入学生の興味と関心

- ◎ バイオサイエンスを勉強したい
- ◎ バイオテクノロジーで健康な生活に貢献したい
- ◎ 有用物質生産、食物生産・加工、組織再生などの分野で活躍する研究者・技術者になりたい



得られる知識・スキル

- ◎ 遺伝子や細胞、生物機能に関する知識と技術
- ◎ 食品や医薬品の生産に役立つ知識
- ◎ 食と健康、環境に関する知識と技術



地域食物科学科

Department of Local Produce
and Food Sciences

**食べることは、生きること。
美味しさや豊かさを探求し、人類が直面
する食料問題の解決を目指す!**

地域食物科学科は、食物科学や農学に関する専門知識・技術を基礎として、果樹・野菜生産や食品製造、資源・環境などの多角的な視点から、人類が直面する食料問題に取り組める人材を養成します。果樹や野菜等の農作物の栽培、食品製造の科学的理解、有用成分の解析と利用を課題に掲げ、地場産業であるワイン産業などを具体的な例として、農学と食品製造を包括的にとらえるための教育を行います。また、教育モデルとして「ワイン科学特別コース」を設置し、ブドウ栽培・ワイン製造を専門に研究する国内唯一の研究機関である「ワイン科学研究センター」の歴史と実績を活かして、専門的なワイン製造技術を教育し、ワイン製造業界で活躍できる人材を養成します。



学びの POINT

入学生の興味と関心

- ◎おいしい食品を製造したい
- ◎食品の栄養に興味がある
- ◎果樹・野菜を栽培したい
- ◎ワイン製造について学びたい
- ◎機能性成分に興味がある

得られる知識・スキル

- ◎味覚や機能性に関する知識
- ◎食品製造・栄養に関する知識
- ◎産業用微生物の基礎知識
- ◎果樹栽培の知識と技術
- ◎農作物生産に関する知識
- ◎ワイン製造の知識と技術

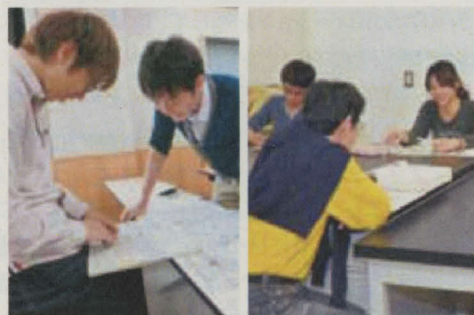


環境科学科

Department of Environmental Sciences

地球規模での環境問題に向き合い、 持続可能な社会の形成に貢献する 人材を養成

生物資源の持続的生産を支える土壌・水・大気の保全、ならびに生物生産の現場と周囲の生態系との調和を通して、自然と共生した豊かで持続可能な社会の形成に貢献できる人材を養成します。環境科学科ではこの目的に向けて、自然科学の知識を基礎として、河川・地下水・森林等を対象としたフィールド調査技術、地理情報システム等の環境情報解析技術、環境影響予測・環境保全計画作成等の環境管理技術に関する実践的な教育を行います。また、自然環境の調査・評価・管理を通じて、安全な生物資源の生産ならびに国内外の環境やエネルギー、食料問題等の解決を目指した教育研究を行います。



学びの POINT

入学生の興味と関心

- ◎環境評価・環境保全に関する知識と技能を得たい
- ◎自然生態系と人間社会の関わりを学びたい
- ◎環境アセスメント・環境マネジメントの分野で活躍したい



得られる知識・スキル

- ◎自然環境に関する物理的・化学的な知識
- ◎生態系に関する生物学的・地球科学的な知識
- ◎生物生産環境等の調査・評価・保全・管理に関する知識と技術



地域社会システム学科

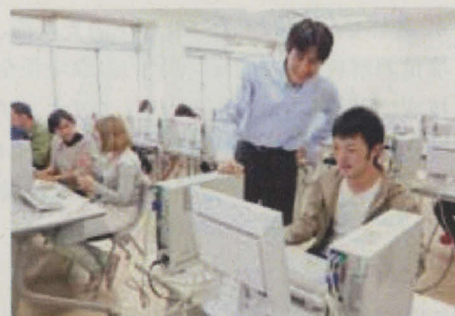
Department of Regional
Social Management

生命環境学部

経済・経営・政治・法律など文系の学問を学び、 企業や行政の分野で地域社会の 持続的繁栄に貢献できる人材を養成

地域社会システム学科は、持続可能な社会の繁栄という観点から新たな発展モデルの確立を目指し、社会経営に関わる理論的知識と実践力をバランスよく身につけた人材を養成することを基本理念としています。社会経営とは、経済運営、企業経営、行政運営の3つの分野のコラボレーションを通じて、地域社会の潜在力を持続的発展のためにマネジメントしていくことを意味します。

地域社会システム学科は、社会経営に関連の深い経済学、経営学、法律学、政治学の4分野の基礎的知識を、徹底した少人数教育とマンツーマン指導でしっかり修得することに加え、実務能力の基盤となる数理的手法および調査手法を修得することを重視しています。また、グローバル系科目やローカル系実習科目を豊富に用意し、地域の持続的発展に必要なマネジメントのヒントを、現場に赴いて自ら掴んでいく能力を身につけることに力を注いでいます。



学びの POINT

入学生の興味と関心

- ◎経済分析を自力でできるようになりたい
- ◎経済社会の将来ビジョンを描けるようになりたい
- ◎産業のイノベーションに興味したい
- ◎独自の政策を立案したい
- ◎グローバルな視点で地域社会の発展に貢献したい
- ◎共生社会のあり方を探究したい
- ◎社会の仕組みを多方面に理解したい



得られる知識・スキル

- ◎経済システムや企業経営の体系的知識
- ◎財務に関する基礎知識と分析能力
- ◎経済解析や統計処理等の数理的手法
- ◎政策を立案・評価する能力
- ◎法制度・政治システム及び社会現象に関する体系的知識
- ◎国際的視野とコミュニケーション能力